

ジュニアゴルファー育成事業

施策のポイント

西日本一ゴルフ場を有するまちとして、ゴルフを通して市民交流並びに親子交流の輪をひろげ、健康の増進と健全な青少年の育成に寄与するとともに、三木市の産業や観光の振興及び心豊かな明るいまちづくりへの貢献を目指す。

自治体情報

兵庫県三木市

人口 / 81,796人

標準財政規模 / 17,562,051千円

担当課 教育部文化スポーツ振興課

電話番号 直通 0794-89-2399 代表 0794-82-2000 内線 3550

実施主体 三木市ゴルフ協会

関連ホームページ

事業期間 平成 21 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

西日本一ゴルフ場を有するまちとして、ゴルフを通して市民交流並びに親子交流の輪をひろげ、健康の増進と健全な青少年の育成に寄与するとともに、三木市の産業や観光の振興及び心豊かな明るいまちづくりへの貢献を目的とする。

また、平成 21 年度には、ジュニア会員の募集や「みっきいジュニアゴルフ塾」を開催することで、子どもの頃からゴルフに親しんでもらうことにより、体力やマナー向上などの心身の健全育成や、ゴルフ人口の底辺拡大、兵庫県ジュニアゴルフ選手権等の出場選手の輩出、さらには世界で活躍

できるプロゴルファーの輩出に寄与できることを目的とする。



2 取り組みの具体的内容

名門「廣野ゴルフ倶楽部」をはじめとする多数のゴルフ場が立地する三木市の恵まれた環境を活かし、三木市出身の橘田光弘プロ（東広野ゴルフ倶楽部所属）を塾長、山崎義己プロ（廣野ゴルフ倶楽部所属）を副塾長として、アイアンショット、ドライバーショット、アプローチ、パッティングやゴルフルールの指導に当たった。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

基礎からの確実な技術習得をめざして、練習を積み重ね「試合への出場」ができるジュニアを育成するとともに、公正、公平の理念を自覚し、フェアプレーに徹したスポーツマンシップ、さらにはフェローシップ精神を有した一人前のゴルファーとして成長できるようサポートし、さらにはゴルフを軸とした地域経済の活性化を目標とした。

4 現在までの実績・成果

平成 21 年 8 月に、東広野ゴルフ倶楽部において、三木市内の子ども達を対象として 3 日間開催したところ、140 名の子ども達が参加した。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

ゴルフは他のスポーツに見られる「走る、投げる」といった基本的な動作とは異なり、日常生活には無い動作、技術を要するスポーツで、ゴルフ未経験の子ども達に技術を指導することは容易ではなかったが、クラス別（習熟度別）で指導することで対処した。

6 今後の展開と課題

これまでの取組みにあわせ、スナッグゴルフ講習会・大会を継続して実施する。

課題としては、プロゴルファー、研修生、三木市ゴルフ場連絡会事業推進委員会や各ゴルフ場の協力が必要不可欠となる。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
1,080 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,080 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					